

Alternative Library Manual

0.1

目 次

1. サポートするランタイムライブラリ	1
2. プリプロセッサの定義.....	3
1. Static,DLL 共通.....	3
2. DLL	3
3. DirectX	4
3. サポート	4
4. ライブラリの使い方	5
1. altBase	5
2. altMemManager	5

1. サポートするランタイムライブラリ

サポートするランタイムライブラリは「マルチスレッド デバック(/MTd)」または「マルチスレッド(/MT)」のみです。

図 1 マルチスレッド デバック(/MTd)

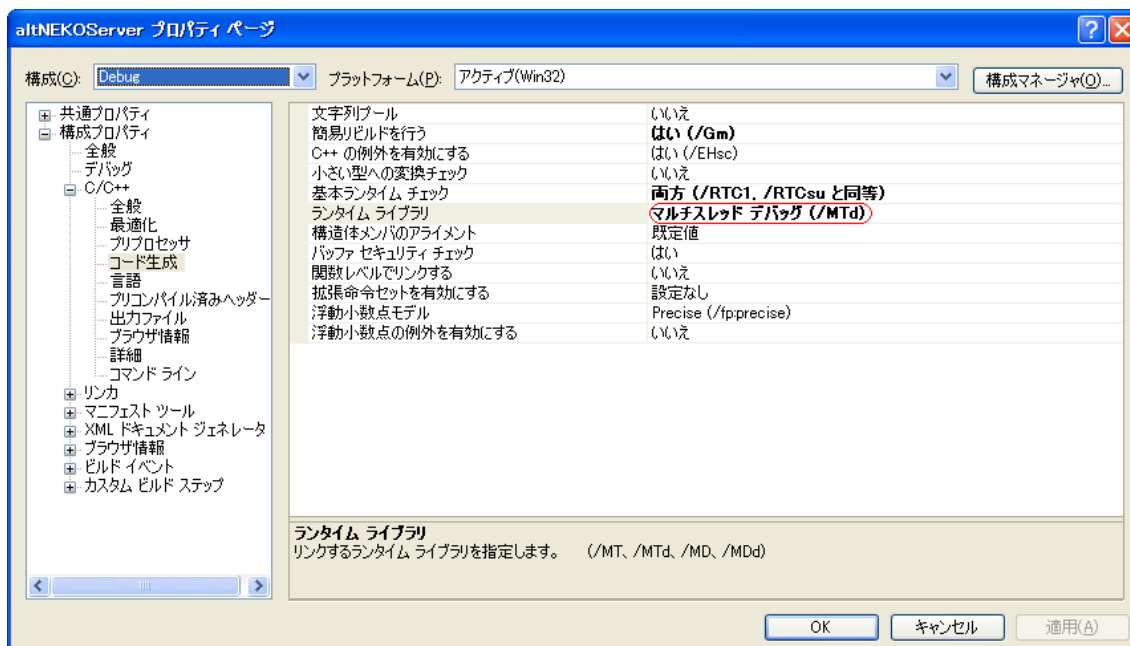
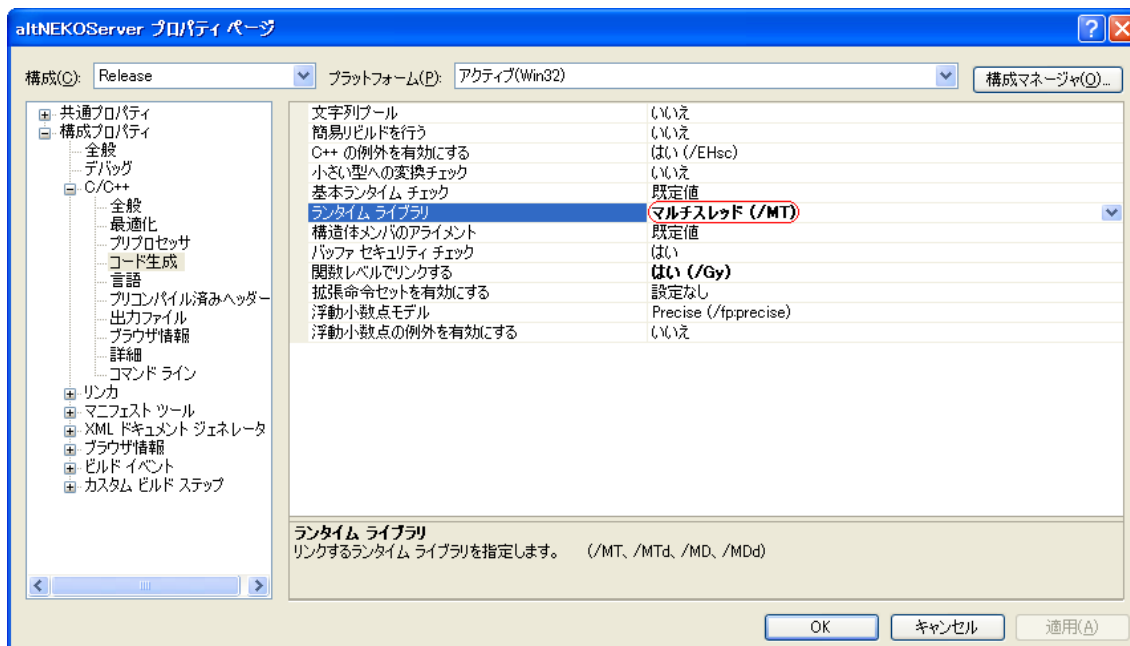
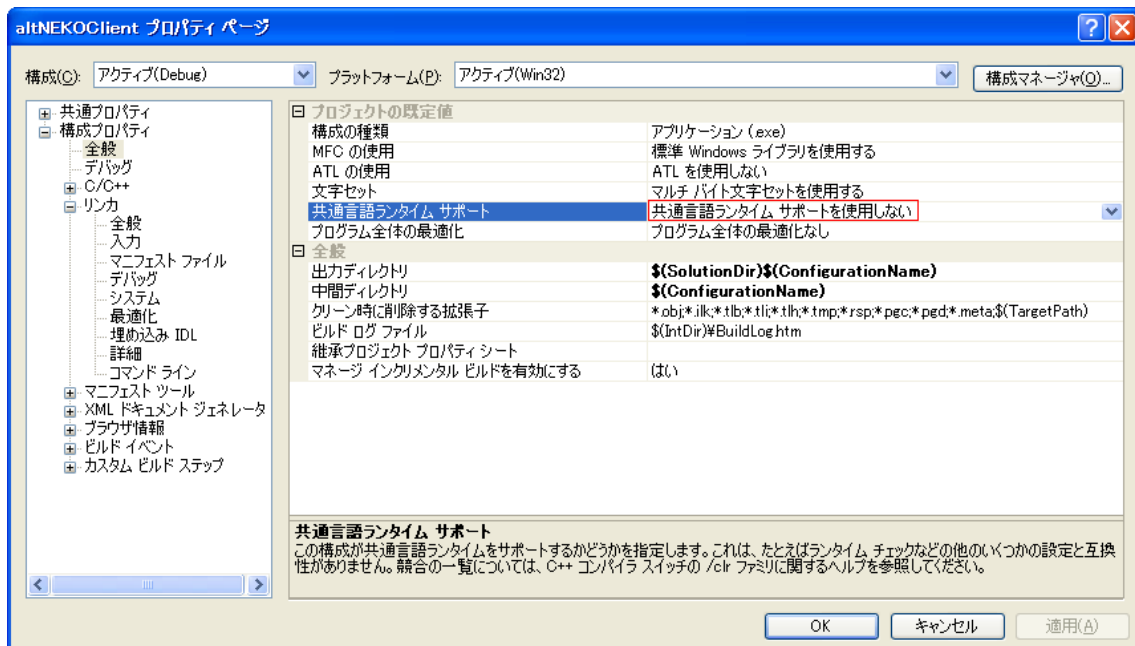


図 2 マルチスレッド(/MT)



「共通言語ランタイム サポート」は「共通言語ランタイム サポートを使用しない」に設定してください。

図 3 共通言語ランタイムサポート



2. プリプロセッサの定義

プリプロセッサの定義を説明します。

1. Static, DLL 共通

Windows の場合は普通に「WIN32」を定義してください。

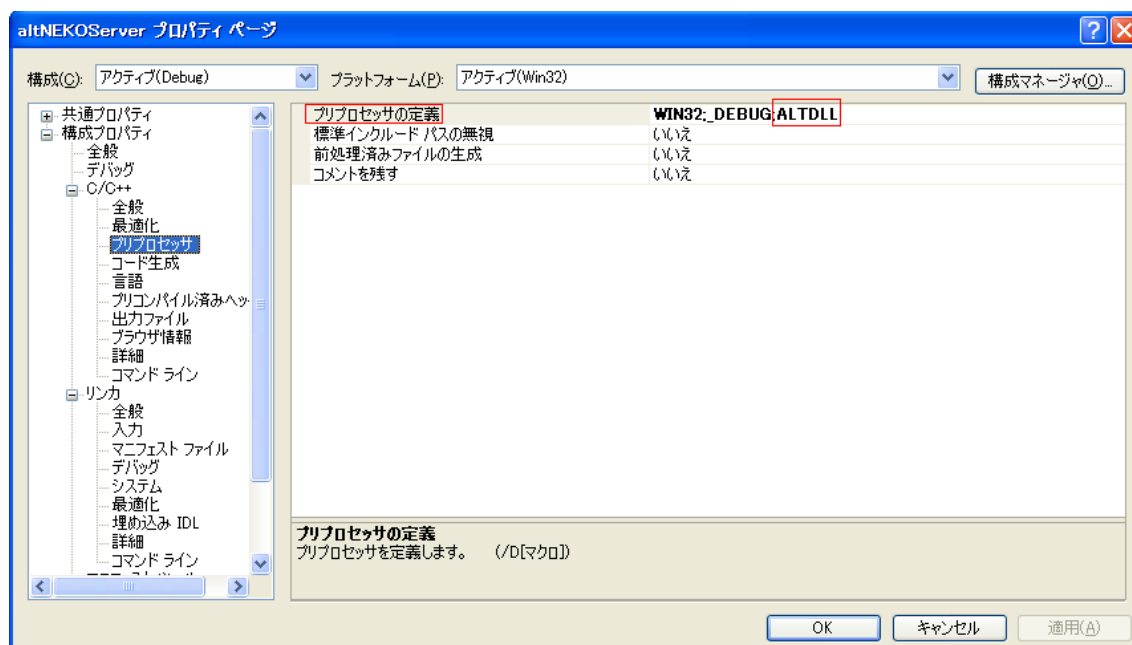
Linux の場合は「WIN32」は定義しないでください。

その他は自由に定義して頂いて結構です。

2. DLL

「libaltMT.dll」を使用する場合の設定方法です。

図 4 DLL の使い方

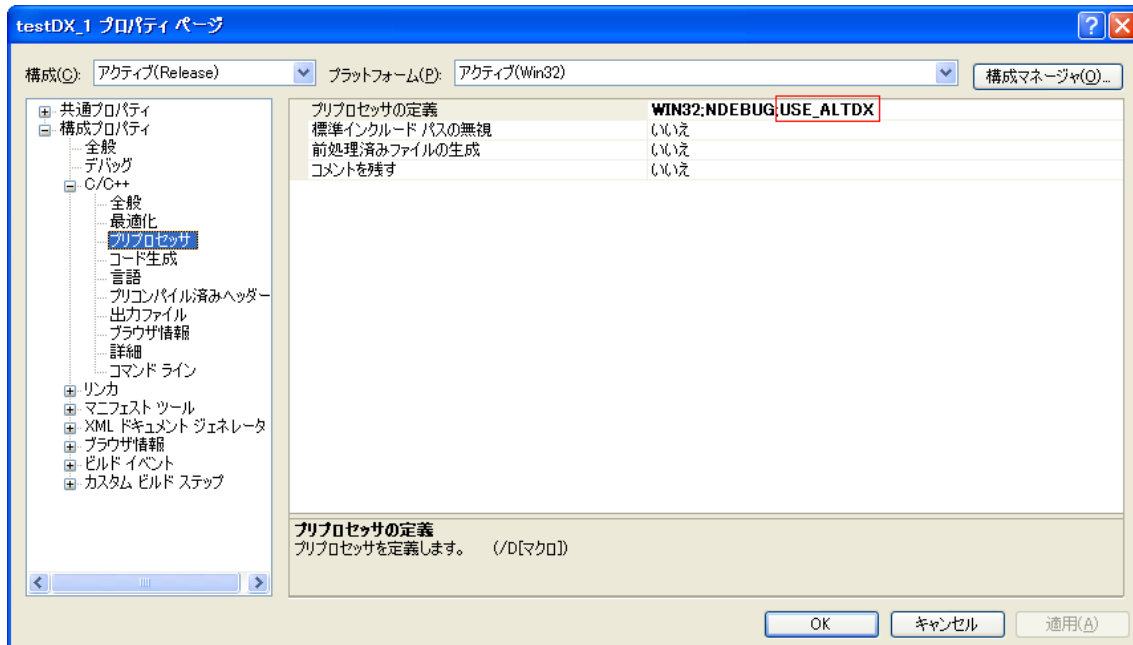


図のように「ALTDLL」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

3. DirectX

DirectX のコンポーネントを使用したい場合は「USE_ALTDX」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

図 5 DirectX の設定



3. サポート

その他サポート連絡先は「alt@ac.cyberhome.ne.jp」です。

4. ライブラリの使い方

1. altBase

ほぼ全てのクラスはこのクラスを継承して構築されています。このクラスを継承した場合、「new」または「ALT_NEW」でメモリを確保した場合、「altMemManager」クラスに登録されます。

このクラスを「public」で継承するようにしてください。

2. altMemManager

メモリ管理クラスです。「aiMemManager」からどこからでもアクセスすることができます。